

平成 28 年度

監 査 報 告 書

定 期 監 査
財 政 援 助 団 体 監 査

富良野市監査委員

目 次

定期監査の結果に関する報告の提出について	1
定期監査報告	2
監査の対象	2
監査の期間	3
監査の範囲	3
監査の方法	3
監査の結果	4
工事定期監査報告	7
学校定期監査報告	10
財政援助団体監査の結果に関する報告の提出について	13
財政援助団体（出資団体）監査報告	14
財政援助団体（公の施設の指定管理者）監査報告	18

富 監 第 3 号
平成 29 年 2 月 16 日

富良野市長	能 登 芳 昭	様
富良野市議会議長	北 猛 俊	様
教育委員会委員長	吉 田 幸 男	様
農業委員会会長	東 谷 正	様
選挙管理委員会委員長	堀 川 眞 理	様

富良野市監査委員	宇佐見 正 光
富良野市監査委員	渋谷 正 文

定期監査の結果に関する報告の提出について

地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づき、平成 28 年度分を対象とした定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり提出します。

定期監査報告

1. 監査の対象

総務部

企画振興課	企画振興係、広聴広報係、秘書係
総務課	総務係、統計係、職員係、地域情報係

市民生活部

市民協働課	自治・交通・消費係、文化・スポーツ係
-------	--------------------

保健福祉部

保健医療課	健康推進係、医療健診係
こども未来課	こども未来係
こども通園センター	こども通園係
子育て支援センター	子育て支援係
虹いろ保育所	保育係
山部保育所	保育係
東山保育所	保育係
あおぞら保育所	保育係

経済部

農林課	農業振興係、耕地林務係
農業担い手育成センター	担い手育成係
ぶどう果樹研究所	業務製造課 業務係

建設水道部

技術審査課	
地籍調査課	地籍調査係
都市建築課	都市建築係、住宅政策係

教育委員会

社会教育課	社会教育係
青少年補導センター	
中央公民館	公民館係
生涯学習センター	生涯学習センター係
山部公民館	公民館係
図書館	図書館係

看護専門学校

教務課 教務係
事務課 事務係

選挙管理委員会事務局

農業委員会事務局

監査委員事務局

(28 課 35 係)

2. 監査の期間

平成 28 年 12 月 14 日から平成 29 年 2 月 10 日まで

3. 監査の範囲

平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 11 月 30 日までに執行された財務及び一般行政に関する事務の執行状況

4. 監査の方法

監査の対象となる各部局に対し、下記の資料の提出を求め、この中から抽出により関係書類及び諸帳簿等を検査し、関係職員から事務の執行状況及び内容等の説明を聴取するとともに、現地調査を実施した。

※ 提出資料

- 様式 1 事務分担表
- 様式 2 歳入予算執行状況
- 様式 3 負担金補助金交付金等支出状況調
- 様式 4 現金取扱状況（公金の他、各種団体の現金を含む）
- 様式 5 契約事務の状況調
- 様式 6 建設工事施工状況調
- 様式 7 備品台帳整理状況

5. 監査の結果

監査結果の概要は、下記のとおりであり、おおむね適正な事務の執行がなされていると認められた。

なお、軽易な改善や検討、若しくは注意を要する事項については、監査の過程で関係部局に口頭にて改善等を指導したので、本報告では省略する。

(1) 歳入歳出予算の執行状況（一般会計）

平成 28 年 11 月末現在の執行状況は、予算現額 13,557,719 千円に対し、収入済額は 8,484,838 千円、収入割合は 62.6%で前年度同月比 5.9 ポイント減少、支出済額は 6,935,663 千円、執行率は 51.2%で前年度同月比 4.8 ポイント減少している。

(2) 収入に関する事務

① 収納事務

収納事務については、歳入予算執行状況により保育所負担金、公営住宅使用料、市民農園使用料、看護専門学校の授業料、公衆電話使用料等について関係書類を検査したところ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

なお、公衆電話使用料については、金額の多寡にかかわらず、定期的に確認し収納するよう努められたい。

② 現金取扱事務

現金取扱事務については、文化会館使用料を現地調査し、窓口における現金の取り扱い状況を確認したところ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

現金の取り扱いについては、事務の効率化を図りながら、常に安全で適切な管理体制の構築が求められることから、収納した現金は、財務規則に従い当日又は翌日に指定金融機関へ引き継ぐよう事務処理を徹底されたい。

③ 滞納整理事務

滞納整理事務については、保育所負担金、公営住宅使用料の関係書類について検査し、関係職員から内容の説明を聴取したところ、法令に基づき収納事務が適正に処理されていることが認められた。

公営住宅使用料については、一部に長期に及ぶ滞納者が見受けられることから、連帯保証人への催告等、滞納整理に向けた事務処理を進められたい。

今後も滞納整理にあたっては、関係部局との連携強化、情報の共有化を図り、納税者等の負担の公平・公正を保つため、滞納整理事務の重要性を認識し、円滑な徴収に努められることを望むものである。

(3) 支出に関する事務

① 補助金等の支出

補助金、交付金、負担金の支出については、抽出により関係書類を検査したところ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

補助金、交付金の交付について、金額に応じた分割交付を原則とし、特別な事情により分割交付をしない場合は、十分に精査の上、その理由を明記するよう事務処理を徹底されたい。

負担金については、加入の必要性や効果等を常に検証し、適切な支出に努められたい。

② 旅費の支給事務

旅費の支給事務については、監査対象の全課に対し、出張命令票及び復命書の提出を求め検査したところ、旅費計算等おおむね適正に執行されていた。

なお、一部に復命書が作成されていないものが見受けられたが、復命書は旅費の支給にあたり、出張の目的や履行を確認するものであることから、適正な事務処理を図られたい。

③ 臨時的任用職員の賃金支給事務

臨時職員の出勤簿、休暇届、賃金の支出内訳書を検査したところ、おおむね適正に処理されていた。

なお、保育所の臨時職員については、勤務時間、雇用形態の多様化により事務が煩雑化しているため、勤務表と出勤確認表、出勤簿の統一化を検討し、適正な賃金支給事務に努められたい。

(4) 契約に関する事務

各種の契約事務を対象とし、抽出により関係書類の提出を求め検査したところ、おおむね適正に執行されていることが認められた。

なお、一者随意契約をする場合は、例外的な執行であることに留意し、契約事務の競争性、透明性をより一層確保できるよう努められたい。

(5) 財産管理に関する事務

物品の管理について、備品台帳、不用決定書、処分調書等の関係書類を検査したところ、組織の新設・統廃合により、物品の廃棄・移管手続きが行われていないものが散見された。

物品の管理にあたっては、財務規則に基づき事務処理を徹底するとともに、備品台帳と備品の定期的な照合に努められたい。

(6) 団体会計に関する事務

市職員が担っている団体の経理事務については、補助団体の監査として適正な執行管理がされているかの観点から、収入支出証書、金銭出納簿、現金預金残高の照合を行ったところ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

団体の経理事務では、収入支出証書、金銭出納簿を整備し、団体代表者の決裁を受ける等、一層の透明性を図り、公金の取り扱いに準じた適正な事務処理を徹底されたい。

工事定期監査報告

1. 監査の対象

所 管 部 局		監査対象工事	うち抽出工事
総務部	財政課	1 件	
市民生活部	環境課	1 件	1 件
	市民協働課	1 件	
経済部	ぶどう果樹研究所	1 件	
建設水道部	都市施設課	13 件	7 件
	都市建築課	31 件	6 件
	上下水道課	20 件	7 件
教育委員会	学校教育課	2 件	
計		70 件	21 件

(注) 監査対象工事は、歳出科目 15 節工事請負費に関する工事及び 11 節需用費の修繕料に関する工事（請負金額 100 万円以上）とする。

2. 監査の期間

平成 28 年 9 月 30 日から平成 28 年 10 月 31 日まで

3. 監査の範囲

平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日までに発注した工事
(なお、必要に応じて前年度に発注した工事（繰越明許費）を含める。)

4. 監査の方法

監査対象部局から「工事施工状況調」の提出を求め、進捗状況により工事を抽出し、その設計、工事管理及び工事事務が法令等に基づき適正に執行されているかについて関係書類を検査し、関係職員から内容等の説明を聴取するとともに、現地調査を実施した。

5. 監査の結果

監査対象工事は 70 件、うち抽出工事は別表のとおり 21 件（抽出率 30%）、その中から 2 件の工事については現地調査を実施したところ、対象となった工事の設計、工事管理及び工事事務は適正に整理されていた。

今後も工事の設計、工事管理等、関係法令に基づき適正に執行し、建設事業の向上に努められたい。

(別 表)

抽 出 工 事

(注) 請負額の単位は百円単位四捨五入にて千円単位で表示
現地調査を実施した工事は、工事名称に●印で表示

環 境 課

(単位：千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
1	破袋機応急修繕	1,922	東日本テクノ(株)	28.6.24 ~ 28.7.15

都市施設課

(単位：千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
2	道路舗装側溝改良工事(口無線外)	14,796	(株)山伏パコム	28.4.28 ~ 28.7.8
3	東6条道路改良舗装工事	60,696	(株)増山建設	28.8.19 ~ 28.12.30
4	西8条2道路改良舗装工事	51,689	(株)増山建設	28.6.10 ~ 28.8.22
5	南1号8線橋架換工事	69,930	大北土建工業(株)	28.7.8 ~ 29.1.20
6	公園施設長寿命化改修工事 (第1工区)	17,896	道栄工業(株)	28.7.22 ~ 28.11.30
7	公営住宅建設工事 (北麻町道路第1工区)	59,572	大北土建工業(株)	28.5.27 ~ 28.9.30
8	公営住宅建設工事 (北麻町道路第2工区)	30,672	(株)森田工建	28.8.19 ~ 28.11.30

都市建築課

(単位：千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
9	演劇工場舞台照明設備改修工事	11,124	(株)一戸電建	28.4.28 ~ 28.9.30
10	旧麻町保育所解体工事	10,314	富桑工業(株)	28.5.27 ~ 28.7.22
11	● 寿光園ナースコール設備更新工事	14,256	東邦電設(株) 富良野支店	28.6.24 ~ 28.9.23
12	旧特別養護老人ホーム改修工事	18,770	(株)那知組	28.6.24 ~ 28.9.2
13	● 固形燃料化施設破袋機破袋刃等交換修繕工事	5,711	東日本テクノ(株)	28.9.2 ~ 28.10.14
14	文化会館エレベーター設置工事	22,680	(株)軽米組	28.9.30 ~ 29.3.3

上下水道課

(単位：千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
15	量水器取替工事(第1工区)	10,346	(株)亀屋齊藤商店	28.4.15 ~ 28.11.18
16	量水器取替工事(第5工区)	9,720	後田設備工材(株)	28.4.15 ~ 28.11.18
17	麻町地区配水管更新工事	26,611	後田設備工材(株)	28.6.10 ~ 28.11.10
18	富良野水処理センター 電気設備修繕工事	4,298	東芝電機サービス(株)	28.6.28 ~ 28.12.9
19	富良野水処理センター 施設修繕工事	1,242	(株)増山建設	28.8.22 ~ 28.9.9
20	富良野水処理センター 長寿命化改築・更新工事	78,840	水ing(株)北海道支店	28.8.19 ~ 29.3.10
21	富良野水処理センター 長寿命化改築・更新工事	73,440	(株)東芝北海道支社	28.9.16 ~ 29.3.10

学 校 定 期 監 査 報 告

1. 監査の対象

富良野市立布部小学校

富良野市立布礼別小学校

富良野市立山部小学校

富良野市立富良野東中学校

富良野市立布部中学校

2. 監査の期間

平成 28 年 5 月 12 日

3. 監査の範囲

財務に関する事務の執行状況（平成 26 年度・平成 27 年度）

施設維持管理状況

4. 監査の方法

学校定期監査は、市内 15 の小中学校を 3 年サイクルで実施している。本年度の監査においては、現金・物品の取扱、各種台帳等の整理、施設の維持管理状況等について現地調査を実施し、関係書類や施設管理状況を検査した。

5. 監査の結果

監査の結果は以下のとおりである。

(1) 物品等の管理状況

① 備品・備品カード、図書管理

おおむね良好に整理されていることが認められた。

図書の管理では、廃棄図書の台帳記載を徹底し、図書と台帳の照合に努められたい。また、事務の簡素化の観点から、紙台帳と電子データ台帳による図書の管理は一元化するよう検討されたい。

② 理科薬品の保管・取扱状況

薬品庫、理科室の施錠やカギの管理、薬品の保存状況は、おおむね良好に管理されているが、長期未使用の薬品は定期的に処分するなど適切な管理に努められたい。なお、理科室での火気類取扱いには充分注意を払い、使用済みマッチやピーカー等理科備品の整理整頓にも努められたい。

理科薬品台帳については、各学校の様式が異なり、使用者及び学校長の確認方法にも差が見られたため、取扱方法の統一化を検討されたい。

③ 郵便切手・はがき等の取扱状況

郵便切手・はがき等受払事務については、受払簿、現品等を照合したところ、良好に整理されていると認められた。

④ 学校教育活動費交付金の取扱状況

会計処理はおおむね適正に処理されていると認められたが、収入支出証書及び金銭出納簿の整備、学校長決裁を徹底し、公金の支出にあたって一層の透明性を図り適正な事務処理に努められたい。

また、支出調書には領収書添付の徹底を図られたい。

(2) 預り金の管理状況

修学旅行経費等の預り金については、適正に管理し事務処理されていることが認められた。なお、預り金を取りまとめ学校を経由して旅行会社に支払う場合においても、預り金の支払いを確認できる領収書等の整備を徹底されたい。

給食費については、現金及び口座振替による徴収方法により未納金はなく、年度当初において、保護者への年間諸経費の通知を行い、未納の場合は個別に通知をし、迅速な完納に努めていることが認められた。

また、給食費徴収事務取扱交付金については、これまで同様に用途の明確化が必要であることから、今後も適切な支出に努められたい。

(3) 施設の管理状況

施設の環境整備及び美化については、おおむね適正に管理されていることが認められた。特に安全点検カードを作成し、日ごろから施設管理に努めている学校もあり、今後も各学校の主体的な取り組みを期待するものである。

空き教室については、必要に応じた利用にも対応できるよう、日頃から整理整頓し適切な施設管理に努められたい。

校舎周辺の環境整備では、遊具等の定期点検及び修繕を実施し、花木による美化活動にも取り組まれたい。

(4) 個人情報の取り扱いについて

個人情報の取り扱いについては、富良野市教育委員会が作成した「富良野市立学校における情報セキュリティガイドライン」や学校独自の取扱い基準に沿い、適正に実施されていることが認められた。今後も適切な管理運用に努められたい。

富 監 第 4 号
平成 29 年 2 月 16 日

富 良 野 市 長 能 登 芳 昭 様
富良野市議会議長 北 猛 俊 様

富良野市監査委員 宇佐見 正 光
富良野市監査委員 渋谷 正 文

財政援助団体監査の結果に関する報告の提出について

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき、財政援助団体監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり提出します。

財政援助団体（出資団体）監査報告

1. 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による財政的援助の監査

2. 監査の対象及び期間

対象団体	株式会社 富良野振興公社
監査の期間	平成28年10月14日から平成28年11月30日まで
出資状況	資本金 10,000千円（2,000株） 出資金 9,800千円（1,960株 出資比率98.0%）
所管部局	総務部

3. 監査対象団体と設立目的及び現況

富良野振興公社は、昭和37年に第3セクターとして設立され、市内各地域の宅地造成・分譲、公共事業用地の確保等の地域開発の一躍を担ってきた。その後、観光産業の急速な伸展に伴い、本市の基幹産業である農業と観光を融合させた関連施設（富良野市自然休養村管理センター（ふらのワインハウス）・富良野市農村環境改善センター（ハイランドふらの））の管理運営受託に事業主体を移し、農林業の振興として地場産品を活用したレストランや、市民等への福祉向上と健康増進を目的とした貸館施設等の運営を行っている。

4. 監査の範囲

平成26年度及び平成27年度における財政援助に係る会計その他の事務

5. 監査の方法

出資団体及び所管部局から提出された資料に基づき、経営成績や財政状態、会計経理及び財産管理、関係諸帳簿等の整備状況、設立目的（出資目的）に沿った事業運営状況などを検査し、関係職員から内容等の説明を聴取した。

なお、地方自治法第199条の2の規定に基づき、平成26年度における監査については、宇佐見正光監査委員を除斥した。

6. 監査の結果

出資団体の富良野振興公社について、会計経理及び設立目的に基づいた事業運営については、適切に執行されているものと認められた。

経営成績については、平成26年度からは黒字経営に転換し、平成27年度においても更に収益を伸ばすなど、職員が一丸となった経営努力がうかがえる。

その要因には、市民を中心としたサービスの提供という経営方針を貫きながらも、顧

客を市民と市民以外に分けた営業戦略をたて、顧客ニーズに沿った食材等の仕入れ内容や価格を見直しながら繁忙期対策等、きめ細やかな取り組みを積極的に推進した努力が功を奏したものと評価する。

今後も市民や富良野を訪れる観光客に、本市の魅力を発信できるよう各種の事業推進に取り組まれることを望むものである。

所管部局について、出資比率からも市の関与は大きいものがあり、今後は老朽化した施設の更新等に経費が見込まれることから、市の公共施設等総合管理計画の方針に基づき、振興公社の経営成績及び財政状態を十分に把握し整備を検討されるとともに、出資目的（設立目的）に沿った適切な指導監督に努められたい。

出資団体の概要は別紙資料1のとおりである。

(資料1)

出資団体の概要

1 事業内容

- ア 公共のため必要とする不動産の取得及び売却並びにあつ旋
- イ 住宅用地・工場用地等の造成及び分譲売却並びにあつ旋
- ウ 富良野市から委託を受けた事業の執行
- エ 地方産業開発のため富良野市から要請された事業
- オ 不動産の賃貸及び商標登録マークの使用等に関する事業
- カ 前各号に附帯する一切の業務

2 資本金の額

10,000 千円 (2,000 株)

3 株主及び所有株式数

株主名	年度	所有株式数 (株)	出資金額 (千円)	出資割合 (%)	配当金額 (円)
富良野市	26	1,960	9,800	98.0	0
	27				0
ふらの農業 協同組合	26	30	150	1.5	0
	27				0
富良野商工 会議所	26	10	50	0.5	0
	27				0
計	26	2,000	10,000	100.0	0
	27				0

4 運営施設

- ・富良野市自然休養村管理センター (ふらのワインハウス)
- ・富良野市農村環境改善センター (ハイランドふらの)

5 役職員数 (平成27年4月1日現在)

- 取締役 9名
- 監査役 2名
- 社員 12名 (不動産1名 ふらのワインハウス4名 ハイランドふらの7名)
- 臨時職員 16名 (ふらのワインハウス5名 ハイランドふらの11名)

6 事業実績（経営成績）

事業区分	年度	利用者数 (人)	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	当期純利益 (千円)	前年度増減 (千円)
不動産	26		8,793	377	375	▲96
	27		9,081	268	279	
ふらのワインハウス	26	38,105	93,217	6,339	6,360	▲19
	27	39,591	90,959	6,391	6,341	
ハイランドふらの	26	166,068	161,832	▲4,068	▲4,051	2,015
	27	165,331	176,633	▲1,970	▲2,036	
合 計	26	204,173	263,842	2,648	2,684	1,900
	27	204,922	276,673	4,689	4,584	

(注) 本表は富良野振興公社の損益計算書により作成している。売上高には指定管理料を含んでいる。

なお、前年度増減欄は当期純利益の年度比較の増減である。

7 財政状態

項 目	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	比較増減 (千円)	比較増減率 (%)
資産の部	132,370	135,448	3,078	2.3
流動資産	57,519	60,587	3,068	5.3
固定資産	74,851	74,861	10	0.0
負債及び資本の部	132,370	135,448	3,078	2.3
負債				
流動負債	19,676	18,170	▲1,506	▲7.7
固定負債	5,000	5,000	0	0.0
資本				
資本金	10,000	10,000	0	0.0
利益剰余金	97,694	102,278	4,584	4.7

(注) 本表は富良野振興公社の貸借対照表により作成している。

財政援助団体（公の施設の指定管理者）監査報告

1. 監査の種類

地方自治法第 199 条第 7 項の規定による公の施設の指定管理者監査

2. 監査の対象及び期間

対 象 団 体 株式会社 富良野振興公社
 対 象 施 設 ①富良野市自然休養村管理センター（ふらのワインハウス）
 ②富良野市農村環境改善センター（ハイランドふらの）
 監 査 の 期 間 平成 28 年 10 月 14 日から平成 28 年 11 月 30 日まで
 所 管 部 局 ①経済部ぶどう果樹研究所
 ②経済部農林課

3. 監査の範囲

平成 26 年度及び平成 27 年度における公の施設の管理運営に係る会計その他の事務

4. 指定管理期間等

（消費税込 単位：千円）

対象施設	指定管理期間	指定管理料		利用料金制 の適用
		年度	金額	
①富良野市自然休養村 管理センター (ふらのワインハウス)	自：平成 23 年 4 月 1 日 至：平成 28 年 3 月 31 日	26	—	有
		27	—	
②富良野市農村環境 改善センター (ハイランドふらの)	自：平成 23 年 4 月 1 日 至：平成 28 年 3 月 31 日	26	6,378 (2,259)	有
		27	6,272 (0)	

(注) 指定管理料は市の一般会計決算額を記載している。()内は燃料高騰分を内数で記載している。

5. 監査の方法

指定管理者及び所管部局から提出された資料に基づき、公の施設の管理運営業務に係る会計経理及び事業実績、協定書等の関係書類を検査し、関係職員から内容等の説明を聴取した。

なお、地方自治法第 199 条の 2 の規定に基づき、平成 26 年度における監査については、宇佐見正光監査委員を除斥した。

6. 監査の結果

監査の結果は以下のとおりである。

① 富良野市自然休養村管理センター（ふらのワインハウス）

施設の設置目的に基づき、適切に処理されていると認められた。

指定管理者においては、定期的に利用者ニーズを把握し、利用促進並びに利用者サービスの向上に努められたい。また、今後も災害・緊急時の対応のため、定期的な防災訓練の実施に努められたい。

所管部局においては、指定管理の基本方針並びに協定書に基づき、事業の内容の把握及び確認、災害・緊急時の対応等の適切な指導に努め、今後とも指定管理者と連携して効率的、効果的な施設の管理運営に努められたい。

② 富良野市農村環境改善センター（ハイランドふらの）

施設の設置目的に基づき、適切に処理されていると認められた。

指定管理者においては、これまでの経営努力により、少しずつ収益を伸ばしている。今後とも利用者ニーズに応じたきめ細かな対応により、利用促進並びに利用者サービスの向上に努められたい。また、今後も災害・緊急時の対応のため、定期的な防災訓練の実施に努められたい。

所管部局においては、指定管理の基本方針並びに協定書に基づき、事業の内容の把握及び確認、災害・緊急時の対応等の適切な指導に努め、今後とも指定管理者と連携して効率的、効果的な施設の管理運営に努められたい。

監査対象団体の概要は別紙資料1及び資料2のとおりである。

(資料1)

富良野市自然休養村管理センター(ふらのワインハウス)の指定管理状況について

(1) 施設の設置目的

農林業資源と自然環境を求めて訪れる者及び農林業にたずさわる者に対して、研修又は休養の場に供し、広く農林業に対する理解を高めるとともに、市民の福祉に寄与することを目的とする。

(2) 施設の概要

所在地 富良野市清水山 1161 番地の 160

構造 鉄筋コンクリート造 2 階建

敷地面積 7,286.5 m² (延床面積 885.61 m²)

施設内容

ワインハウス 1 階 展示売店コーナー、倉庫、水槽室、機械室、事務室、管理人室、エレベーター等

2 階 小研修室、中研修室、従業員室、給食室兼大研修室等

屋外トイレ

屋外バーベキューハウス

緑地・ラベンダー園 2ha

営業開始年 昭和 54 年

(3) 施設の利用料金 (単位：円)

室名	利用料金	暖房料
研修室	2,700	冬期間 1 回につき 540 円を加算

(4) 施設の利用状況 (単位：人)

年度	延利用者合計	利用者内訳	
		食堂利用者	バーベキューハウス利用者
26	38,105	37,172	933
27	39,591	38,882	709
増減	1,486	1,710	▲224

(5) 施設の収支決算状況（ふらのワインハウス）

(消費税抜 単位：千円)

1) 指定管理業務に要する経費の収支			
	項 目	平成 26 年度決算額	平成 27 年度決算額
収 入	指定管理料	0	0
	利用料	36	0
	その他収入	21	12
	施設管理業務の収入合計 (A)	57	12
支 出	人件費	2,624	2,817
	その他の経費	2,931	2,568
	施設管理業務の支出合計 (B)	5,555	5,386
2) 自主事業等に要する経費の収支			
収 入	レストラン売上高	76,310	76,881
	バーベキューハウス売上高	2,533	1,471
	売店売上高	14,305	12,553
	その他収入	34	53
	自主事業等の収入合計 (C)	93,182	90,958
支 出	人件費	29,334	31,702
	その他の事業	51,990	47,541
	自主事業等の支出合計 (D)	81,324	79,243
3) 収支総額			
収 入 (A + C) (E)		93,239	90,970
支 出 (B + D) (F)		86,879	84,629
収 支 (E - F)		① 6,360	② 6,341
収 支 増 減 (②-①)			▲ 19

(注) 本表は富良野振興公社の決算報告書をもとに、市の指定管理者募集要項に示された収支の区分（指定管理業務と自主事業）により作成している。なお、人件費には共通経費の役員報酬等を按分で含んでいる。

(資料2)

富良野市農村環境改善センター（ハイランドふらの）の指定管理状況について

(1) 施設の設置目的

農業経営の改善、地域農業者の生活向上と併せて、市民の福祉と健康増進を図ることを目的とする。

(2) 施設の概要

所在地	富良野市字島の下	
構造	鉄筋コンクリート造2階建	
敷地面積	8,456.06 m ² (延床面積 3,083.99 m ²)	
施設内容		
研修棟	地上1階	浴室(大浴場A・B、リハビリ用浴室、露天風呂等)
	地下1階	機械室(機械設備、電気設備)
センター棟	地上1・2階	ホール3箇所、管理事務所、管理人室、相談室、和室 研修室、便所、エレベーター、談話集会室、視聴覚研修室、 調理実習室、倉庫
宿泊棟	地上1・2階	客室26室、リンネ室、便所、配膳室、食堂、作業室、 休憩室
付属施設		バーベキューハウス 2棟
営業開始年	昭和61年	

(3) 施設の利用料金

①貸館施設等

(単位：円)

区分		利用料金	暖房料	摘要
入湯料	大人(高校生以上)	510	—	入湯税を含む
	中人(中学生)	407		
	小人(小学生)	257		
利用料 (1時間)	多目的ホール	1,080	冬期間 利用料の3割に 相当する額	団体の会議室 等の利用料
	和室研修室	540		
	視聴覚研修室	540		

②宿泊施設

(単位：円)

利用区分 室名	宿泊の場合 (15時～翌日10時)		日帰りの場合		摘要
	貸室料 (1室)	暖房料 (1人)	貸室料 (1時間)	暖房料 (1室)	
洋室A	11,880	324			定員2 室数2
洋室B	9,720	324			定員2 室数7
洋室C	12,960	324			定員3 室数5
洋室D	15,120	324			定員4 室数6
和室	15,120	324	270	108	定員4 室数6
大広間			540	216	室数1

(4) 施設の利用状況

(単位：人)

年度	延利用者合計	利用者内訳		
		食事利用者	宿泊者	入浴者
26	166,068	56,475	11,676	97,917
27	165,331	53,905	13,615	97,811
増減	▲ 737	▲ 2,570	1,939	▲ 106

(5) 施設の収支決算状況（ハイランドふらの）

(消費税抜 単位：千円)

1) 指定管理業務に要する経費の収支			
	項 目	平成 26 年度決算額	平成 27 年度決算額
収 入	指定管理料	3,814	5,808
	宿泊売上高	34,185	40,392
	入湯料	29,341	28,839
	雑収入	2,737	2,654
	施設管理業務の収入合計 (A)	70,077	77,693
	支 出	人件費	22,442
その他の経費		48,447	51,666
施設管理業務の支出合計 (B)		70,889	75,198
2) 自主事業等に要する経費の収支			
収 入	食事売上高	73,344	78,580
	野外ガーデン売上高	5,533	7,211
	売店売上高	12,878	13,149
	その他収入	17	8
	自主事業等の収入合計 (C)	91,772	98,948
支 出	人件費	35,819	37,596
	その他の事業	59,192	65,883
	自主事業等の支出合計 (D)	95,011	103,479
3) 収支総額			
収 入 (A + C) (E)		161,849	176,641
支 出 (B + D) (F)		165,900	178,677
収 支 (E - F)		① ▲ 4,051	② ▲ 2,036
収 支 増 減 (②-①)		2,015	

(注) 1. 本表は富良野振興公社の決算報告書をもとに、市の指定管理者募集要項に示された収支の区分（指定管理業務と自主事業）により作成している。なお、人件費には共通経費の役員報酬等を按分で含んでいる。